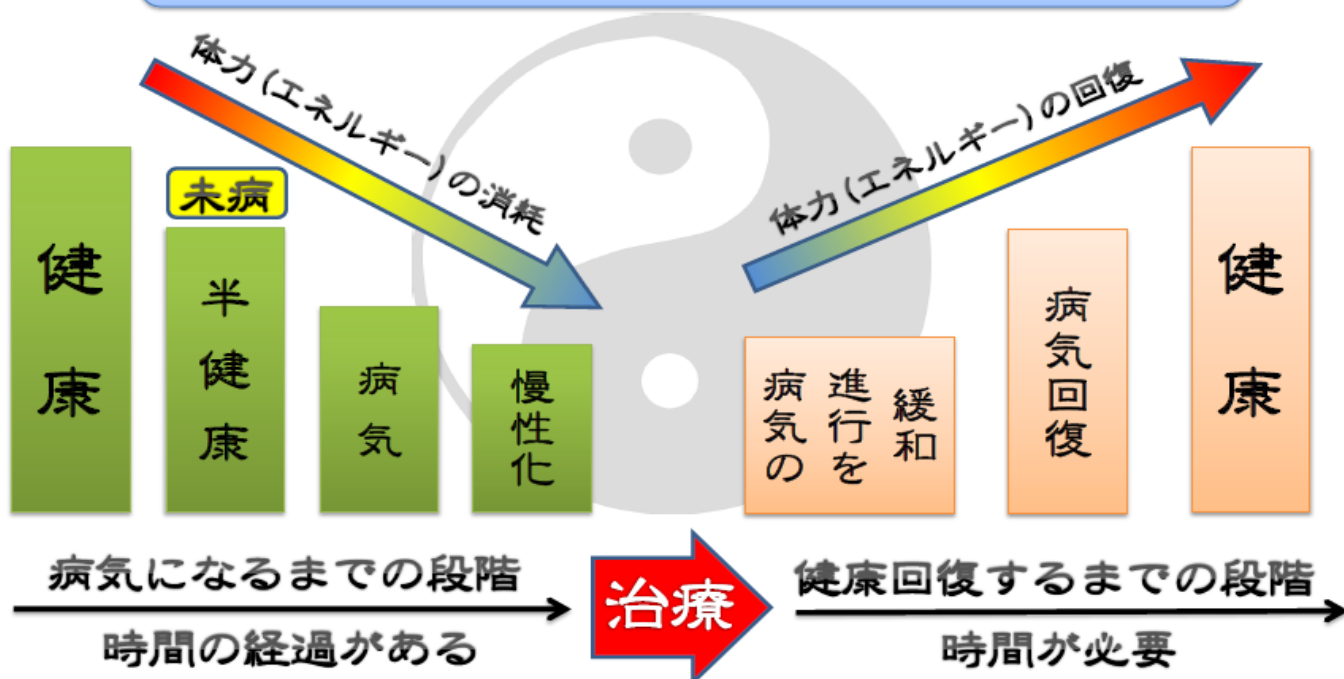


# 『未病』について

「病気とは何か？」…痛みや腫瘍があったり、ハッキリとした自覚症状があって初めて「病気」と思われる方が大半だと思います。しかし、中医学的な発想では、特に目立った症状がなくても、「元気がない・活力が出ない」これらはもう「病気」の段階に入っていると考えます。身体に問題がなければ、「元気がない・活力が出ない」ということは有り得ないからです。これぞまさしく『**未病**（まだ病気ではないが、いずれ病気に移行するかもしれない）**状態**』を意味します。『未病状態』は現代医学的検査では身体の異常を数値で出すことの出来ない状態でもあります。現代医学ではストレスや疲れによる「不定愁訴」と診断されることが多く、症状に対する薬を処方されるか、ゆっくり休むように言われます。中医学では、人の身体はもともとストレスを解消したり、疲れをとる力が備わっていると考えていますので、その力が気血水・五臓などのアンバランスで低下していると診断します。そのため、中医鍼灸では、その気血水・五臓にツボを使ってアプローチをして、バランスをとることで自分の治ろうとする力をサポートしてあげて治療を行うことができます。

病気を発症してからでは、治癒に時間がかかることが多く、苦痛も大きくなります。未病の段階で治療を行うことで、病気になりづらい身体をつくることができます。この機会にご自分の身体の状態を見つめ直してみたいはいかがですか？

## 病気の進行と回復の過程



予約はこちら  048-446-9860

石上鍼灸院

検索

